

# 42 破天荒

令和 二年度版  
創刊  
第三十六号

## 第一学期終了 波乱はなげ 足元をしつかり

例年であれば、今日七月三十一日は、一学期終了後の前期補習と、その合間に行われた三者面談を終え、翌週からの中期補習に向けて、僅かばかりの休養、リフレッシュの時間に充てられる日です。

こんな形で、今日を迎えることができるのも、こんな経験ができるのも、中途半端な災難でなく、未曾有の災難のお陰かもしれません。

ところで、一学期期末考査の取り組みはどうでしたか。こんな災難時でさえ、日本という国、日本の教育界は、特例などなくきちんとルールを守り、一学期終了が許される最終期限の本日までを一学期とし、来週月曜日からは二期始業式という呼び方になります。なかなかこのようなことを説明される機会がないので、ある意味では何故このような日程なのか、疑問を持たれている家庭もあったと思います。実は、法律上こうせざるを得ないというものが、このような日程の理由です。余談ですが、それでも、わが国日本は、秩序を保って淡々と、このコロナ禍を平然と日々の生活を進めています。

とはいえ、最近のコロナウイルス新規感染者数を聞くたびに、第二波と煽られていような気がします。樂觀しているわけではありません。が、もう少しちゃんとした情報が欲しいと思います。例えば、新規入院患者数、退院患者数、重症患者数などを示してくれるだけでも、ある部分、私達は冷静になれるのではと思うのですが、「経済を止めるほどではない」「不要不急の外出は控えてほしい」「第一波に備えて対応してほしい」・・・どれが最優先順位なのか、何となく私達の中の危機感もまた薄れてしまっているように感じます。

さて、約二か月の学校生活を経て、「学校っていいよな」と感じた想いが、少しずつ薄れて、自分に甘えを与えていくことが増えていませんか。先述した中にもありますが、日々の危機感の低下が増えていっているように思います。コロナウイルス禍より熱中症という言葉に任せて、マスクを常に外して良いと、勝手に解釈をしている人が増えていませんか。天秤にかけるのは、人との距離感であり、近付きたければマスクをし、マスクを外したければ人から遠ざからなければなりません。場合によっては、皆さんもフェイスシールド装着が、選択肢に加わる日がいつか訪れるかもしれませんね。根拠がなくとも、「自分は大丈夫」と思いたいのは、私の中にもありません。ただ、もしもう一度、日々の生活が止まるようなことがあれば、いくらオンライン等を通じた授業が物理的に進められるとは言え、皆さんはあのリモート生活に本当に耐えられますか。そのすぐ後の受験に対応してくれませんか。

世の中には、いくら技術が発達しても人の心に支配されていることが山ほどあります。例えば、

### 感情 言動 行動

皆さんは、発達した AI 機能に支配されて、マシンの如く自分の感情を「無」にして、家庭での学習の日々を再び望みますか？

私は嫌です。生きていく限りは、人と人が触れ合う限りは、いろんな葛藤、いろんな軋轢、いろんなストレス、いろんな無駄、いろんな欲望などとともに、多くの時間を浪費します。一方で、人と人の繋がりがあからこそ、側にいる圧を感じるからこそ、伝えられる、ぶつかることができる、お互いを知ることでもできます。そんな機会を失うようなことは二度としたくない。でも、未曾有であったものが、小さな経験により、最近では数多くの油断が見られる行動や、言動、危機感の無さを伝えるニュースがテレビを賑わしているのも事実です。更なる未曾有の出来事で、皆さんの人生に大きな不利益が起らないように、できる気配りは、しておきたいと思えます。

改めて、一学期終了とともに、この先の行動計画をしつかりとイメージしてみませんか。そして、個人としても、集団としても、揺れる心、負けそうになる想い、先が見えない不安と正面から向かい合い、進むべき方向をコントロールしながら、前代未聞であるこのコロナウイルス禍での受験機会を貴重な経験として捉え、様々な工夫、例えば、時間の使い方・取り組み方法・心の平常を保つ方法を改善してみましよう。

来週からは、二期期がスタートします。四月・五月に先行して夏休み、および、夏休みの宿題が、今回は授業の予習だったと考えるのは、だいぶ独りよがりな解釈でしょうか。ただ、どうせやらざるを得ないならば、都合の良い、前を向ける解釈をしたいものです。でないと、日々、見えないものに押しつぶされそうになるのは、私以上に皆さんの方だと思ってしまう。良い振り返りが将来できるように、人生で一番辛く感じている「いま」を、奥歯を噛みしめて、一緒に闘っていきましょう。

共通テストまであと、

## 一六九日

暑い夏とともに、さあ力を蓄える日々を過ごしましょう。

## 入試情報

### 共通テストの日程

変更なし 令和三年一月二六日(土)一七日(日)  
特例 令和三年一月三〇日(土)三一日(日)

新型コロナウイルス感染症の影響に伴う学習の遅れを在学する学校長に認められた者  
および、一六、一七日実施の試験の追試験  
受験対象者

特例の試験日に、関西では近畿大学私学入試あり

### 国立大学前中後期出願

変更なし 令和三年二月三日(水)

共通テスト特例受験認可の基準は未定  
というよりも問題の難易度、次への準備を  
考慮すると、二週間程度ではメリットなし

### 関西大学

総合型選抜入試出願期間の変更

変更前 九月一日〜七日 消印有効  
← 変更後 九月一五日〜二三日 消印有効

### JAPANESE Portfolio 文部科学省より運営許可見直しの方向

入試等での、主体性・協働性の評価は曖昧になります  
が、それらの力をつけるために、生徒が行ってくれた活動は、自ら表現する場面で役に立ちます。

「面白い観点で書ける」が、「話題を深める」「発想を広げる」部分で、トレーニングは必要です。特に総合選抜型入試や、学校推薦型選抜入試を考えている生徒は、新聞等を利用して、読む習慣や内容をまとめる習慣、自分の意見を表現する習慣を、さらに取り組んでほしいと思います。

### 医療の現場から

気になる新聞記事の配布を、1 学年以来継続して配布していますが、それに加えて医療関係への進学を希望する者向けに、「医療の現場から」と銘打って、最近の新聞記事から取り上げて、配布を始めました。

200 字程度に要約し、自分の言葉で医療現場の抱える問題点、職業に対する倫理観を養成するべく、継続していきます。

本気度の高い生徒は、真剣に考えてまとめた要約の提出を、タイムリーにしています。

### 休日学ぼうクラブ

休日もしっかり学習に取り組みたいが、学習空間がない、家ではつい甘えてしまう、と言った生徒向けに、「休日学ぼうクラブ」を立ち上げました。

勿論、学校はコンビニエンスストアでも、街の談話室でもないの、配布したプリントにもあるようなルールに則って行いますが、自分としっかり向かい合いたいと思ったら、入クラブ届を提出して参加してください。

エアコン等が効いているなどということのない厳しい環境ではありますが、良かったら参加してみてください。

## 42 回生のいま

### 6 月進研マーク模試

模試の実施に当たり、生徒も含めて保護者の皆様も振り回してしまいました。申し訳ありませんでした。結局、自宅実施ということになかなか集中し辛い環境であったと思います。長らくの休業期間から、正常な学校生活へのステップに、とはならず残念でした。

さて、結果の方ですが、真面目な相高生らしい結果であったと思います。つまり、言われたことは忠実にこなす中間層(全国偏差 50 前後)に該当する生徒達の出来が、偏差値 50 を下回る方向に偏りました。この 2 か月、やはり、見られている意識が少し弱くなるのは致し方ない。ただ、課題発掘には良い模試であったと考えています。まずは、現在の自分の立ち位置を正しく知ったこと。この状況下でも、各科目の平均点等からでは、厳しさも感じていましたが、この先への期待もあるのか、予想よりも E 判定ではなく、D 判定・C 判定をもらっている感がありました。また、文系上位層においては地力を付けている雰囲気があります。理系上位層は、休業期間中の学習科目に、好き嫌いで行っていた感は否めません。

ここで述べることは私見です。道は決して優しくはないですが、この時期、下手に A・B 判定をもらえる第一志望を考えるより、C・D の判定であれば、危機感と獲得欲の強さを実感して、本気で闘うことに目覚めてくれる生徒も多い。勿論、ショックを受けて志望校の変更に走る生徒もいます。数値は現実を厳しく教えてくれます。ただ、この時期に、闘う準備が整って模試に臨んでいる生徒の割合がどの程度であると推測しますか？

要は、ここからです。やる前にさじを投げるより、本気の自分で闘ってみたいと思いませんか？その準備を一刻も早くスタートしていきましょう。

全体のイメージとしては、中間層の皆さんは、もう一度、基礎の徹底・提出物の取り組みをきちんと向かい合う・やり放しでなく、見直しを忘れない。第一志望への想いの強さを再確認することです。そうすれば、おのずと道は明るくなるでしょう。残念ながら、まだスイッチの入っていない皆さんは、コロナウィルスのせいにはしないこと。授業をしても、していなくても、毎年同じように存在します。自分の将来のためにも早く気付いて下さい。上位層の皆さんは、判定以上に、得点率に貪欲になりましょう。しっかり、作戦を考えること。問題に取り組む順番や、ケアレスミス、マークミスなどなかったか。次に向けての強化ポイントをどこに置くか、などです。

最後に、「合格」という判定をもらえたらよい。そのためには、数字に踊らされず、自分が取り組んだことをどれだけ発揮できているかを分析してください。

強化ポイントは、漢文・ベクトル・日本史・物理・リーディング。これ以外の科目もそうですが、読み取るスピード、問題の流れに乗る器用さ、そして、1 点でも拾い上げる貪欲さです。

何もしなければ、後退はあっても前進はない。気持ちだけ空回りさせず、一つ一つを確実に、ややスピードを意識して消化しよう。

### 本屋さんへ行こうその 1

各教科から、夏休み以降に向けて、様々な参考書・問題集等の紹介をして頂けると幸いです。その情報と大きな志を持って、大きな本屋さんへ行きましょう。

一番のお勧めは、JR 姫路駅構内ピオレヤング館 2 F ジュンク堂書店 です。

二番目は、イオン赤穂店 2 F 未来屋書店 です。

三番目は、TSUTAYA 姫路飾磨店 です。

ただ、圧倒的に一番のお勧めが良いとは思いますが、目的の参考書や問題集を探していると、ひょんなことから意外な雰囲気を持った本に出会うことがあります。紹介される本に間違いはありません。ただ、相性というのは不思議なもので、そういった本に出会って、目覚めることも受験生にはしばしばあります。

少しの気分転換を兼ねて、少し足を運んでみるのも良いのでは。

## 8 月の予定

三十一日 (月)	二学期始業式
三十日 (水)	特別時間割 (午前中授業)
二十九日 (木)	全統共通プレテスト
二十八日 (金)	関西福祉大学にて (予定)
二十七日 (土)	
二十日 (火)	学校閉校日
十九日 (水)	
十八日 (木)	
十七日 (金)	
十六日 (土)	
十五日 (日)	
十四日 (月)	特別時間割授業 (午前)
十三日 (火)	三者面談 (午後)
十二日 (水)	通常授業開始
十一日 (木)	眼科検診 (午後)
十日 (金)	内科検診 (午後)
九日 (土)	GTCE 検定版 (3 年希望者)
八日 (日)	実力考査 (午前)